

第 14 回

昔を！今を！今歌う会

‘窓を開ければ’ 唄が聞こえる

～ヨコハマの港・丘・街…～

おはなし・歌唱指導 酒井沃子 安田直弘
ピアノ 半澤尚美



2012年 8月12日(日) 開演 14:00

アートフォーラムあざみ野 1階レクチャールーム

■ 主催 今歌う会実行委員会

プログラム



・赤い靴	作詞：野口雨情	作曲：本居長世
・かもめの水兵さん	作詞：武内俊子	作曲：河村光陽
・青い眼の人形	作詞：野口雨情	作曲：本居長世
・みなと	作詞：旗野十一郎	作曲：吉田信太
・野毛山節	作者：不詳	
・悲しき口笛	作詞：藤浦 洸	作曲：万城目正
・港町十三番地	作詞：石本美由起	作曲：上原げんと
・港が見える丘	作詞・作曲：東 辰三	
・別れのブルース	作詞：藤浦 洸	作曲：服部良一
・憧れのハワイ航路	作詞：石本美由起	作曲：江口夜詩
・上海帰りのリル	作詞：東条寿三郎	作曲：渡久地政信
・ブルー・ライト・ヨコハマ	作詞：橋本 淳	作曲：筒美京平
・よこはま・たそがれ	作詞：山口洋子	作曲：平尾昌晃
・伊勢佐木町ブルース	作詞：川内康範	作曲：鈴木庸一
・夜霧の第二国道	作詞：宮川哲夫	作曲：吉田 正
・夜霧よ今夜もありがとう	作詞・作曲：浜口庫之助	
・霧笛が俺を呼んでいる	作詞：水木かおる	作曲：藤原秀行
・昔の名前で出ています	作詞：星野哲郎	作曲：叶 弦大
・かもめが翔んだ日	作詞：伊藤アキラ	作曲：渡辺真知子

スペシャルコーナ

♪?♪?♪?♪?♪?♪?♪?♪?♪?♪?



♪プログラムの進行上、曲順、曲目等が変更になることがあります。
あらかじめご了承ください。



ご案内

「赤い靴」のトレビア

横浜を舞台にした数多い曲のなかでも、「赤い靴」は特に有名です。

♪赤い靴(くつ) はいてた 女の子
異人(いじん)さんに つれられて 行っちゃった
横浜の 埠頭(はとば)から 汽船(ふね)に乗って
異人さんに つれられて 行っちゃった

この曲は大正11年(1922年)、野口雨情作詞・本居長世作曲で発表された童謡ですが、現在では、「異人さん」などという言葉は使わないので、「いい爺さん」とか「ひい爺さん」などと勘違いしている人が多いらしい。



『赤い靴』楽譜大正十三年版

舞台となった横浜の山下公園に「赤い靴はいてた女の子像」があります。
(あまり知られていないが、JR横浜駅のコンコースにもある)
ところが、ところが・・・

- ・静岡県日本平『母子像』(1986年) <母親かよときみの出身地>
- ・東京都麻布十番『きみちゃん像』(1989年) <孤児院のあった場所>
- ・北海道留寿都村『母思像』(1991年) <北海道の開拓地>
- ・北海道小樽市『赤い靴 親子の像』(2007年) <かよ夫妻が晩年過ごした場所>
- ・北海道函館市『きみちゃん像』(2009年) <義父が仕事を見つけた場所・きみちゃんには無関係>
- ・青森県鮎ヶ沢町『赤い靴の像』(2010年) <義父の生まれ故郷・これも便乗組>

全国にこんなにたくさんの像があるという。

不思議ですね、詩には「横浜の埠頭から・・・」という表現はあるが、それ以外の地名はないはず。何故でしょうね・・・、というおはなしです。

現在、この曲にはモデルが実在したということが定説化されています。

モデルとされるきみちゃんは私生児。赤ん坊の頃、母親かよに連れられ静岡県から北海道へ渡り、そこでかよは結婚する。

しかし、夫と共に始めた開拓生活は厳しくやむなくきみちゃんをアメリカ人宣教師夫妻に養子に出す(きみ3歳)。やがて宣教師夫妻は本国に戻ることになるが、きみちゃんは結核に冒されており一緒にアメリカに渡ることができず、東京の孤児院に預けられる(きみ6歳)。

そして、9歳のときにその孤児院で亡くなった。

母親は宣教師夫妻と一緒にアメリカに渡ったものと思込み、娘が東京で亡くなったのことも知らずに一生を過ごした。

随分うまくできたおはなしだが、横浜以外の「像」はこの定説(?)に基づいて作られたことが分かります。

というのも、この説が有名になったのは、1978年、北海道放送が「赤い靴」についてのドキュメンタリー番組を放送してからだ。が、内容は結構矛盾も目立つようだ。

- ・あるとき、きみちゃんの妹(老婆)が「きみちゃんは赤い靴のモデルだ」といいだした。
- ・きみちゃんの母親の旦那は一時野口雨情と親しかった。

というようなことを説の根拠にしている。

勿論、この説に対し、『赤い靴』ときみちゃんは関係ない、まったくのねつ造」として反対している団体も存在します(きみ家族の存在は認めている)が、なんせ昔のおはなしなので・・・

2010年に横浜市と姉妹都市であるカリフォルニア州センディエゴ市に山下公園の少女像と同様のものが建てられたという。

やはり、「赤い靴」の女の子は歌のとおりアメリカに渡ったんでしょうね。

プロフィール

酒井 沃子 Yoko Sakai

東京藝術大学音楽部声楽科卒業。数々のコンサートの企画運営に情熱を注ぎ、既成概念を破る印象的なステージ創りを次々と実現させている。コーラス4団体の主宰をし、個性を持った何処にも無いグループとして育てている。平成15年設立された、NPO法人「65歳からのアトライフ推進会議」では、理事長として、青葉区から発信する音楽イベントを実現させ、多方面から注目を浴びている。「昔を今を 今歌う会」では、主宰・指導者として、地域の音楽に貢献している。

安田 直弘 Naohiro Yasuda

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後、シャンソン、ポップス、ソウルバンド等、長年演奏活動を続ける。NHK レッツゴーヤングの歌唱指導等で高い評価を得る。現在、歌手・俳優へのヴォイストレーニングでも活躍中。東海大学、文化学園大学非常勤講師。

半澤 尚美 Naomi Hanzawa ピアノ

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。ピアノを井口基成、森安芳樹、室内楽を岩崎 淑の各氏に師事。虎ノ門ホールにてデビューコンサート、県立音楽堂にて横浜弦楽四重奏団と競演。イタリア、シェナ夏期講習に参加。現在、昭和音楽大学および同大学付属音楽教室ピアノ講師として後進の指導にあたる。

スタッフ

- ・山本 桂子（事務局長）・丹羽 綾子（ステージコーディネータ）・坂野 義雄（事務・会場）
- ・藤本 裕（構成・プログラムデザイン） ・その他ボランティアの皆さん

★次回予告★

第15回「昔を！今を！今歌う会」

2012年11月28日(水) 開演14:00 (開場13:30)

アートフォーラムあざみ野 1F レクチャールーム

お好きな歌・思い出の歌・今すぐにリクエストを！！

オペラ、歌曲、シャンソン、カンツォーネ、ジャズ、ポップス、
童謡、唱歌、フォークソング、民謡、演歌、他

- ・お問い合わせ／リクエスト先： オフィスバルーン Tel&Fax. 045-901-9914
E-Mail office_balloon@a00.itscom.net